勸誡歌字盡

全

特
へ 遠13
8/8

東京帝國大學圖書之印
明治三十六年十月十三日
氏寄贈
遠 明 813

醒酔笑自序

一人娘
男女子
二人婿

貞女両夫ふまゝえび忠臣永くよ深編笠倶
に一對の馬鹿律義ふゝく獨娘ふ婿八人の譬ひ
訓
歌
字
盡

ゝね昔くの師匠さんもあるさまゝ歟。もんゝ女子ハ
一生に夫とい人唯しゝ夫ゝお半ゞ桂川是を生田の
川水ふ手名を流ゝ三巴娘獨に婿ゝ取ゝ引ゝ
當りを祝ゞよい。作者獨ゝ重工版元孰を孰鼎乃足
三人倚ゝ三文ゞ智恵ゞ揮ゝ三冊物。三年ぶゝふて
毫と採ふゝお剛柔の　式亭三馬題

文化乙丑春且

芝神明前和泉屋市兵衛版

一部の大意

頃日よくぢりのひまどりて明の李卓吾が山中一夕話と名づくる桐城女の條下にありひとつの趣向あらくなし。我邦梅塢散人が掃ム舟[illegible]草にかとえし。伊勢や日向の物語に彷彿たり。和漢一双の奇々怪々しかりしく案ずるに是ぞと浮かりのお染久松お梅条之助が[illegible]続にひきうつ。又八もんじ屋の作者物語にまずしくて例のさびしにつくる足則虚とあつて実につく実をとつて虚に[illegible]その戯作者ぶり[illegible]趣向のうねりあつくさみに[illegible]放下師のホウカの一ゆうと数多に似たれども。ちかごろ歌祭文のさびに滑稽の名をとうげて三年業とよぶれへ綴切成どうしふり[illegible]作者が[illegible]江戸気の皆さまの歌詞のかぐらを[illegible]春町[illegible]青本[illegible]おのが田へひくぬかけろん。かく[illegible]青本の聴衆一行の老婆[illegible]おうつき給ふ[illegible]

發端

作者の胸より趣向のうかむ圖

彫師 甚五郎

諸惡莫作
閻羅天子
冥吏
修善奉行
魂
魄

油屋

貴銀箱

此所心中銘用

貫銭

浦賀堂おのぶ三之丞本さうし
新作品係り孔去申子十月姉巾の初ぐさてこれ
を書いていふお話は作者の往復なる帯上い

式亭三馬作

五春

一人娘
二人婿

男川訓歌字盡中

泉市